



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤澤 良太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 武川 隆彦 TEL 03-3639-6311
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	30,296	13.1	8,167	11.0	8,225	8.4	5,740	10.4
29年3月期第3四半期	26,775	1.0	7,357	33.6	7,588	35.4	5,200	36.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,222万円 (18.1%) 29年3月期第3四半期 5,269百万円 (54.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	161.68	—
29年3月期第3四半期	146.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	63,760	49,712	78.0	1,400.02
29年3月期	56,585	45,160	79.8	1,271.79

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 49,706百万円 29年3月期 45,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	25.00	43.00
30年3月期	—	22.00	—		
30年3月期(予想)				23.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,700	9.6	10,550	6.9	10,600	5.6	7,320	6.2	206.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	35,511,000株	29年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	7,146株	29年3月期	7,146株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	35,503,854株	29年3月期3Q	35,503,959株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、設備投資や雇用環境の改善により、景気は穏やかな回復基調にありました。一方、世界経済は、欧米における雇用環境の改善により、個人消費や設備投資が増加し、景気は回復基調で推移したものの、欧米諸国に広がる政治情勢の懸念やアジアにおける地政学的リスクの高まり、新興国の経済不確実性等により、先行きは不透明な状況が継続しています。

このような情勢下、当社グループは拡大する需要にこたえるため、生産能力の増強、物流・生産体制の継続的見直しによる経営体質の更なる強化、原料の安定的な確保およびコスト競争力の強化、新製品の開発、そして海外展開による拡販に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は302億96百万円（前年同期比13.1%増、35億20百万円増）、営業利益は81億67百万円（同11.0%増、8億9百万円増）、経常利益は82億25百万円（同8.4%増、6億36百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、57億40百万円（同10.4%増、5億39百万円増）となりました。

なお、平成29年11月1日付で、三井化学株式会社より鹿島事業所を引継ぎ、有機酸事業の承継を完了しました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が182億84百万円（前年同期比11.5%増、18億86百万円増）、営業利益は27億5百万円（同13.2%減、4億12百万円減）となりました。

国内においては、リンゴ酸、クエン酸をはじめとした果実酸類の拡販、工業向け製品の販売増、および主要原料価格上昇に対応した販売価格改定に努めました。また、海外子会社も堅調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業利益は原料価格の上昇や輸入仕入価格の上昇が利益を押し下げる要因となりました。これらの結果、ライフサイエンス事業全体では増収減益となりました。

なお、平成29年11月1日付で、三井化学株式会社より鹿島事業所を引継ぎ、ライフサイエンス事業の中核となる製造拠点として稼働を開始しています。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が120億11百万円（前年同期比15.8%増、16億34百万円増）、営業利益は63億37百万円（同25.8%増、12億99百万円増）となりました。

半導体市場が継続して堅調であり、半導体製造プロセスの微細化の進展により当社製品「超高純度コロイダルシリカ」への需要も増加しています。さらにナノパウダー等の半導体研磨分野以外に使用される製品の販売も堅調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、設備投資に伴う京都第一工場の稼働停止の影響があったものの、コスト削減による製造原価の低減や販売数量の増加により、前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ71億75百万円増加し、637億60百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、建設仮勘定の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ26億22百万円増加し、140億47百万円となりました。これは主に、未払金の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ45億52百万円増加し、497億12百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月31日の第2四半期決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,471,784	20,351,138
受取手形及び売掛金	9,726,930	11,942,419
有価証券	674,049	678,655
商品及び製品	4,800,442	5,369,349
仕掛品	175,777	186,109
原材料及び貯蔵品	933,541	1,319,965
繰延税金資産	394,596	391,707
未収入金	72,832	447,367
その他	106,041	353,156
貸倒引当金	△6,295	△7,695
流動資産合計	41,349,700	41,032,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,691,150	5,853,802
機械装置及び運搬具(純額)	2,162,753	2,636,290
土地	3,066,841	3,067,645
建設仮勘定	1,934,581	8,348,497
その他(純額)	417,175	458,230
有形固定資産合計	13,272,502	20,364,466
無形固定資産	284,783	323,118
投資その他の資産		
投資有価証券	861,847	1,054,170
長期前払費用	29,066	275,769
繰延税金資産	557,602	500,723
退職給付に係る資産	57,480	41,720
その他	313,282	310,401
貸倒引当金	△141,158	△142,295
投資その他の資産合計	1,678,120	2,040,490
固定資産合計	15,235,406	22,728,074
資産合計	56,585,106	63,760,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,852,876	2,786,610
未払金	3,540,547	6,872,389
未払法人税等	1,751,786	1,009,091
賞与引当金	566,030	323,149
役員賞与引当金	69,900	99,700
修繕引当金	—	61,668
その他	516,349	680,373
流動負債合計	9,297,490	11,832,982
固定負債		
繰延税金負債	395,083	440,566
退職給付に係る負債	1,592,917	1,631,207
資産除去債務	8,526	8,526
その他	131,041	133,991
固定負債合計	2,127,567	2,214,290
負債合計	11,425,058	14,047,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	34,408,726	38,480,575
自己株式	△4,091	△4,091
株主資本合計	43,559,405	47,631,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,722	512,724
繰延ヘッジ損益	△404	833
為替換算調整勘定	1,211,754	1,561,606
その他の包括利益累計額合計	1,594,071	2,075,164
非支配株主持分	6,571	6,557
純資産合計	45,160,048	49,712,975
負債純資産合計	56,585,106	63,760,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	26,775,548	30,296,052
売上原価	14,724,936	17,166,031
売上総利益	12,050,612	13,130,021
販売費及び一般管理費	4,692,750	4,962,945
営業利益	7,357,861	8,167,075
営業外収益		
受取利息	15,296	48,827
受取配当金	19,538	20,846
受取手数料	10,841	10,758
為替差益	170,695	—
その他	17,100	24,195
営業外収益合計	233,473	104,627
営業外費用		
為替差損	—	44,120
その他	2,905	2,553
営業外費用合計	2,905	46,674
経常利益	7,588,429	8,225,029
特別利益		
固定資産売却益	309	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	309	0
特別損失		
固定資産売却損	393	430
固定資産除却損	5,963	8,255
減損損失	44,874	—
特別損失合計	51,231	8,686
税金等調整前四半期純利益	7,537,507	8,216,343
法人税、住民税及び事業税	2,293,221	2,427,739
法人税等調整額	42,845	47,688
法人税等合計	2,336,066	2,475,427
四半期純利益	5,201,440	5,740,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	861	385
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,200,578	5,740,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	5,201,440	5,740,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,593	130,001
繰延ヘッジ損益	13,227	1,238
為替換算調整勘定	△26,390	349,852
その他の包括利益合計	68,430	481,093
四半期包括利益	5,269,871	6,222,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,269,009	6,221,622
非支配株主に係る四半期包括利益	861	385

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,537,507	8,216,343
減価償却費	988,541	1,046,849
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△932	1,447
賞与引当金の増減額(△は減少)	△157,132	△244,824
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△94,590	29,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	45,582	54,031
修繕引当金の増減額(△は減少)	—	61,668
受取利息及び受取配当金	△34,835	△69,674
為替差損益(△は益)	△102,547	27,544
固定資産売却損益(△は益)	84	430
固定資産除却損	5,963	8,255
減損損失	44,874	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△1,377,545	△2,136,468
たな卸資産の増減額(△は増加)	142,806	△697,371
仕入債務の増減額(△は減少)	377,612	△256,693
未払金の増減額(△は減少)	77,783	△69,440
その他	121,181	△466,630
小計	7,574,354	5,505,266
利息及び配当金の受取額	36,931	61,778
法人税等の支払額	△2,573,577	△3,160,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,037,707	2,406,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,846,600	△108,979
定期預金の払戻による収入	14,902,798	391,715
有価証券の取得による支出	△560,070	△502,695
有価証券の売却による収入	238,812	507,457
有形固定資産の取得による支出	△529,313	△4,882,053
有形固定資産の売却による収入	1,354	807
無形固定資産の取得による支出	△10,339	△59,324
投資有価証券の取得による支出	△5,070	△5,327
投資有価証券の売却による収入	14,000	0
短期貸付金の回収による収入	3,338	3,495
長期貸付けによる支出	△500	—
長期貸付金の回収による収入	273	279
その他	△25,684	△10,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,182,998	△4,664,952

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△166	—
配当金の支払額	△1,523,748	△1,666,977
非支配株主への配当金の支払額	△400	△400
リース債務の返済による支出	△4,987	△4,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,529,302	△1,672,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	64,290	86,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,755,694	△3,844,291
現金及び現金同等物の期首残高	11,214,130	23,985,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,969,825	20,140,938

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,398,593	10,376,955	26,775,548	—	26,775,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	107	107	△107	—
計	16,398,593	10,377,062	26,775,655	△107	26,775,548
セグメント利益	3,118,154	5,038,001	8,156,156	△798,295	7,357,861

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△798,295千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子材料および機能性化学品事業」セグメントにおいて、生産設備の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、44,874千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,284,697	12,011,355	30,296,052	—	30,296,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,284,697	12,011,355	30,296,052	—	30,296,052
セグメント利益	2,705,324	6,337,617	9,042,941	△875,866	8,167,075

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△875,866千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。